

日中民間文化交流 内藤湖南を語る会



賀衛方先生

内藤湖南研究会は、2019年7月1日午後、河合塾京都校にて、「内藤湖南を語る会」という討論会を共催しました。この会は、中国・北京大学法学院の賀衛方教授から、研究会代表の山田伸吾先生に申し入れがあり、急きょ開催が決まったものです。

賀教授のご専門は法学ですが、日本の歴史学者である内藤湖南に強い興味をもたれ、深く研究されています。一方、今回、賀教授とともに来日された方々も、法曹界、環境保護、国際交流、文芸などさまざまな分野でご活躍中でありながら、内藤湖南に興味をお持ちで、それぞれの視点や見地から研究されている方々です。

「内藤湖南の旅」と題した今回の来日では、湖南の資料展示で著名な秋田県鹿角市の先人顕彰館への訪問や湖南の墓所がある京都の法然院の墓参といった視察に加えて、日本の研究者と湖南について深く議論したいとのことで、内藤湖南研究会への申し入れがありました。

討論会は、まず山田先生と賀先生から湖南に関する発表がありました。賀先生のご発表は、「最近、内藤湖南に興味を持つ方は中国では増えており、1万部以上売れた書籍もある」など最新情報も交えた興味深い内容でした。その後、自己紹介を兼ねて、参加者お一人ずつ、湖南との関わりや研究成果などを発表されましたが、いずれも充実した内容であり、あっという間に終了予定時刻になってしまいました。質疑応答や意見交換は、別会場で夕食を兼ねて和やかに行われました。



山田伸吾先生

